

令和7年度 入学試験要項

総合型選抜

沖縄県地域特別AO入試

ネット出願

人間環境大学

心理学部 (岡崎キャンパス)

環境科学部 (岡崎キャンパス)

松山看護学部 (松山キャンパス)

総合心理学部 (松山道後キャンパス)

総合環境学部 (松山道後キャンパス)

自然災害などの予期せぬことにより、今後、記載事項(日程等)をやむを得ず変更することがあります。
出願時、受験時など、その都度本学ホームページの新着情報をご確認ください。

人間環境大学

心理学部

環境科学部

松山看護学部

総合心理学部

総合環境学部

心理学科／犯罪心理学科

フィールド生態学科／環境データサイエンス学科

看護学科

総合心理学科／総合犯罪心理学科

フィールド自然学科／環境情報学科

1. 大学の理念と目的

人間環境大学は、建学の精神に則り、人間環境に関する該博な知識と深い理解力を備え、すぐれた見識をもって人類と国家社会に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。

2. 入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

【心理学部】

心理学部では、人間と社会の関係に関心を持ち、自身の創造性と主体性を発揮しながら、心理学の知識を社会で活かすことによって社会貢献する意欲を持つ人を求めます。心理学科および犯罪心理学科の入学者受入に関する方針は次のとおりです。

心理学科

心理学科では、心理学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、心理学の専門分野を実践的に学び、現代社会の諸問題について主体的に取り組み社会貢献できる人材を育成します。また、人の心を客観的に分析する科学的態度、人の心の多様性や個別性を追究する意欲、自分自身と他者との関係性への興味関心を持ち、心理学の学びを社会に生かすよう絶えざる努力をし続ける人材を求めます。心理学科での教育を受けるにあたっては、人の心を科学的に明らかにし、心の多様性や人間関係を理解する力が必要となるため、数学、国語、社会などの高等学校の教育内容に基づく基礎知識と、学びに必要な論理的思考力・判断力・行動力・倫理性を有し、他者と協調・協働していくためのコミュニケーション能力を備えた学生を、多様な選抜制度により受け入れます。

1. 心を客観的に分析する科学的態度を持ち、心の多様性や個別性を追究する人
2. 自分自身と他者との関係性に興味関心を持ち、心理学の学びを社会に生かす努力を継続する人
3. 数学、国語、社会などの高等学校の教育内容に基づく基礎知識と、学びに必要な論理的思考力・判断力・行動力・倫理性を持ち、他者と協調・協働していくためのコミュニケーション能力を備えた人

犯罪心理学科

犯罪心理学科では、人間の心と行動や現代社会が抱える様々な問題に強い関心を持つとともに、多様な人間と協働しつつ、人間の心と社会に対して深い理解を得たいという強い意思があることを前提として、心理学と犯罪心理学の専門的知識と実践的な技能・能力をもって積極的に社会に貢献する人材を求めます。犯罪心理学科での教育を受けるにあたっては、専門的知識の修得に必要な知識・技能等、高等学校の教育内容にもとづく基礎学力、研究や実践的な技能・能力の修得に必要な論理的思考力、行動力、および、倫理性、共感性を身につけている学生を多様な選抜制度により受け入れます。

1. 人間の心と行動、および、現代社会が抱える様々な問題に強い関心を持つ人
2. 多様化した現代社会が抱える諸処の問題に対し、その分析や解決に役立てるために心理学および犯罪心理学に関する専門的知識と技能を身につける意欲を持つ人
3. 数学、国語、社会などの高等学校の教育内容に基づく基礎的な学力を有し、学びに必要な論理的思考力、行動力、および、倫理性、共感性を備えた人

【環境科学部】

人間環境大学環境科学部は、理系から文系までの幅広い教養を身に付け、環境科学を基盤とした各専門分野の学問を実践的に修め、広い視野と柔軟な思考力によって社会貢献できる人材を輩出する学部である。

人間環境大学は、人間環境学を理念とし、人間環境に関する該博な知識と深い理解力を備え、すぐれた見識をもって人類と国家社会に貢献できる有為な人材を育成することを目的としている。環境科学部では、自然、社会、情報、およびそれらの関係についての高度な知識や技術を求め、創造的に学問を深めることができ、主体的に物事に取り組む人を求める。環境科学部にはフィールド生態学科および環境データサイエンス学科があり、各学科の入学者の受入れに関する方針は以下に示す。

フィールド生態学科

人間環境大学環境科学部の学位授与の方針に基づいて、環境科学を基盤とした各専門分野の学問を実践的に修め、広い視野と柔軟な思考力によって社会貢献できる人を養成する。フィールド生態学科では、生物やそれを取り巻く非生物的要素により構成される自然環境と、その保全に配慮した社会に関心があり、フィールド調査で培った環境保全に関する知識と技能を、自然共生社会の実現に役立てる意欲を持つ人を求めます。フィールド生態学科での教育を受けるにあたっては、生態系や環境問題を理解する力が必要となるため、生物学を始めとする高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学びに必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性をもち、多様な人々と協働して学び意欲を備えた人を、多様な選抜制度により受け入れます。

1. 生物やそれを取り巻く非生物的要素により構成される自然環境と、その保全に配慮した社会に関心がある人
2. フィールド調査で培った環境保全に関する知識と技能を、自然共生社会の実現に役立てる意欲を持つ人
3. 生物学を始めとする高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学びに必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性をもち、多様な人々と協働して学び意欲を備えた人

環境データサイエンス学科

環境データサイエンス学科では、自然科学分野、情報学分野だけでなく、社会科学分野なども含めた、文理両分野に関して、主体性を持って多様な人々と協働して学び続ける意欲があり、また、環境や国際社会問題に深い興味を持ち、ICT（Information and Communication Technology）活用によって積極的に社会貢献する人材を求めます。環境データサイエンス学科での教育を受けるにあたっては、情報や社会活動を理解する力が必要のため、情報や数学もしくは社会などの高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学びに必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性を備えた学生を、多様な選抜制度により受け入れます。

1. 自然科学分野だけでなく、社会科学分野なども含めた、文理両方に関して、主体性を持って多様な人々と協働して学び続ける意欲がある人
2. 環境や国際社会問題に深い興味を持ち、ICT（Information and Communication Technology）活用によって積極的に社会貢献する人
3. 情報や数学もしくは社会などの高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学びに必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性を備えた人

【松山看護学部看護学科】

生命とその尊厳を守り、あらゆる人々を最適な健康状態へと導く看護サービスを追求する豊かな人間愛と倫理観に富み、地域の保健・医療・福祉の発展に寄与できる看護人材の育成をめざし、次のような学生を求めます。

1. 人々の健康に関心があり、人と関わるのが好きな人
2. 他者への感謝と相手の気持ちを考え、尊重できる人
3. 自らの課題を発見し、解決に向け主体的に行動できる人
4. 自分で努力して成長していくことができる人
5. 看護職者を目指す熱意のある人

上記5つの要件を満たすために、規則正しく健康的な生活習慣を身につけ、正課外もしくは学外のボランティア活動や地域諸活動への積極的な関心と社会貢献への意欲を持つ者を求める。

【総合心理学部】

総合心理学部のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに沿って、次のアドミッションポリシーとする。

総合心理学科

1. 総合心理学科における教育研究活動に取り組むための前提として、高等学校等において修得されるべき基礎的な能力を身につけていること。
2. 本学の理念である「人間環境学」について、持続可能性社会への貢献のために興味関心があり、学ぶ意欲を有していること。
3. 人間の心の特性について、自然科学的にも、人文科学的にも、幅広く学ぶことに興味関心があり、その成果を社会と自分の将来のために活用したい意欲を有すること。
4. 心理学を総合的に学ぶことで、自分の専門分野を見出し、確立していくことに意欲を有しており、その成果を社会と自分の将来のために活用したい意欲を有していること。

総合犯罪心理学科

1. 総合犯罪心理学科における教育研究活動に取り組むための前提として、高等学校等において修得されるべき基礎的な能力を身につけていること。
2. 本学の理念である「人間環境学」について、持続可能性社会への貢献のために興味関心があり、学ぶ意欲を有していること。
3. 人間の心の特性について、自然科学的にも、人文科学的にも、幅広く学ぶことに興味関心があり、その成果を社会と自分の将来のために活用したい意欲を有すること。
4. 犯罪を切り口に心と社会の問題を幅広く学ぶことに興味関心があり、学ぶ意欲を有していること。
5. 犯罪心理学を総合的に学ぶことで、専門的な知識と技術を身に付け、その成果を社会の安心・安全と自分の将来のために活用したい意欲を有していること。

【総合環境学部】

総合環境学部では、自然共生社会の実現とインターネット時代におけるデジタル産業社会の発展とを調和的に達成するための学問と技術を求め、これからの持続可能な社会の構築に関心を持つ人を求める。

フィールド自然学科

人間環境大学総合環境学部の学位授与の方針に基づいて、既存の学問分野に捉われない総合環境学を修め、広範な見識によって即戦力として社会貢献ができる人材を養成する。そのために、フィールド自然学科では、広義の自然学（ナチュラリヒストリー）を踏まえた自然環境の保全やその持続可能な利用について関心があり、フィールドにおいて培った知識や技能をその実現に役立てる意欲を持つ人を求める。フィールド自然学科で教育を受けるにあたっては、生態系や環境問題を理解する力が必要となるため、生物学を始めとする高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学習に必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性をもち、他者と協働して共に学ぶ意欲を備えた人を、多様な選抜制度により受け入れる。

1. 自然全般に対する興味とともに、自然環境の仕組みやその保全、もしくはその持続可能な利用に関心がある人
2. フィールドの現場で培った自然環境に係る知識と技能を、持続可能な社会の実現に役立てる意欲を持つ人
3. 生物学を始めとする高等学校の教育内容に基づく基礎知識や、学びに必要な論理的思考力・判断力・表現力・行動力・倫理性をもち、他者と協働して共に学ぶ意欲を備えた人

環境情報学科

環境情報学科は、ソフトウェア技術の活用を通して産業発展と環境保護の調和をはかることを教育研究上の目的とする。その教育課程は環境理解とソフトウェア技術を中心に展開することから、持続可能社会や環境保護に興味関心をもつ者、もしくは、世の中に普及するソフトウェア製品やソフトウェアによって動作する電子機器、ソフトウェア開発やソフトウェア技術に関わる仕事等に興味関心をもつ者を広く入学者として受け入れたい。以下に具体的な人物像を挙げる。

1. 持続可能社会や環境保護を重視する考え方や社会活動に興味関心がある人
2. SNSアプリやメールアプリ、ゲームアプリ、ワープロソフト等のソフトウェア製品の利用や開発に興味関心がある人
3. アプリによる電子決済サービスやオンラインショッピングサービス、動画配信サービス等の利用や開発に興味関心がある人
4. ソフトウェアによって動作する電子機器（パソコン、スマートフォン、家庭用ゲーム機、自動車、電車、航空機等）の利用や開発に興味関心がある人
5. ソフトウェア技術を活用し、持続可能社会の実現や環境保護等の社会課題に取り組むことに興味関心がある人

人間環境大学のAO入試とは

本学のAO入試は、学科試験だけでは見出しにくい、受験者の持つ多面的な能力、本学での学習意欲や適性を、テーマ作文、面接、および書類選考によって評価しようとする入試制度です。本学で教育を受けるにふさわしい基礎学力があり、出願資格を満たしていれば出願することができます。

沖縄県地域特別AO入試について

県外進学者が多い沖縄県在住の大学進学志望者に対し、沖縄県内では賄えない進学、学習の機会を提供することを目的とする入試です。各学部学科を卒業後は、大学での学びを活かし、沖縄県を始めとした各地で活躍する人材を輩出することで、地域に貢献します。沖縄県に在住し、県外進学志望者を対象に選抜を実施し、選抜においては、教科科目の学力試験では測れない、学びへの意欲を中心にアドミッションポリシーに基づき総合的に評価をします。

1

募集学部・募集学科・募集人員

学部	学科	入試方法	募集人員
心理学部	心理学科	沖縄県地域特別AO入試	23名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
	犯罪心理学科	沖縄県地域特別AO入試	11名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
環境科学部	フィールド生態学科	沖縄県地域特別AO入試	11名
		AO入試Ⅰ期～Ⅲ期	
	環境データサイエンス学科	沖縄県地域特別AO入試	9名
		AO入試Ⅰ期～Ⅲ期 女子学生特別選抜試験	
松山看護学部	看護学科	沖縄県地域特別AO入試	20名
		AO入試Ⅰ期～Ⅲ期	
		ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期	
総合心理学部	総合心理学科	沖縄県地域特別AO入試	20名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
	総合犯罪心理学科	沖縄県地域特別AO入試	15名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
総合環境学部	フィールド自然学科	沖縄県地域特別AO入試	17名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
		ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期	
	環境情報学科	沖縄県地域特別AO入試	14名
		AO入試Ⅰ期～Ⅳ期	
		ふるさと愛媛特別選抜試験Ⅰ期・Ⅱ期	

2

出願資格

【専願型】合格した場合は必ず本学へ入学する者

出願する時点で沖縄県に在住し、本学で学ぶことに強い意欲を持つ専願の者で、本学の令和7年度専願型入試に初めて出願する者。かつ、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※上記(1)(2)において、高等学校等の評定平均値等についての指定はありません。

※上記(3)において、本学の個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、出願開始日までに個別資格審査のための書類提出が必要となります。

※本学の専願型入試は1回のみ出願が可能です。

3

出願手続

出願期間 令和6年9月17日(火)～9月25日(水) 消印有効

出願方法はインターネットのみです。 別紙の「ネット出願ガイド」を参照してください。

(1) 出願登録

本学ホームページの「入試情報」ページから出願サイトにアクセスし、インターネット上で必要事項を登録してください。

出願時に登録した内容の変更・取消は一切認めませんので、よく確認してください。

なお、出願登録時に顔写真(正面・上半身肩口まで・脱帽・背景無地のもので、出願日前3ヶ月以内に撮影したもの)のアップロードが必要です。

「ネット出願ガイド」をよく確認し、あらかじめ写真データを用意しておいてください。

(2) 入学検定料 35,000円

別冊の「ネット出願ガイド」をよく確認し、払込期限内にお支払いください。

入学検定料の他に事務手数料(1,500円)が必要となります。

【入学検定料の返還について】

払込後の入学検定料は、次の①、②の場合を除き、いかなる場合も返還しません。

①入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合または出願が受理されなかった場合

②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

入学検定料の返還については、本学ホームページに掲載しています。入学検定料の返還請求をする者は、入試・広報部(TEL 0564-48-4321)もしくは代表番号(TEL 0564-48-7811)まで連絡し、本学ホームページからダウンロードした必要書類を、令和7年3月31日(月)必着で送付してください。

〔受付時間〕月～金 9:00から17:00(祝日除く)

(3) 出願書類

以下に従って①～③、④または⑤の書類を準備してください。

出願書類	取得方法・注意事項等
①ネット出願志願票	ネット出願登録をし入学検定料を支払い後、出願サイトの「マイページ」にアクセスしてダウンロードし、A4サイズ片面でカラー印刷してください。
②宛名ラベル	ネット出願登録をし入学検定料を支払い後、出願サイトの「マイページ」にアクセスしてダウンロードし、A4サイズ片面でカラー印刷してください。 市販の角2封筒に貼付してください。
③入学志望理由書 (A4) 1枚	本学ホームページ「入試情報」の「出願書類ダウンロード」よりダウンロードし、A4サイズ片面で白黒印刷してください。志願者本人が、規定の枠内に黒のボールペンで記入してください。
④出身学校調査書	文部科学省指定の様式で、出身学校長が出願日前3ヶ月以内に作成・捺印・厳封したものを提出してください。 高等学校の通信制課程は出席日数に加えて、サポート校への出席等がある場合には出席した日数も記載してください。 高等学校等既卒者が出願する際の注意事項 注1) 現住所が確認できる住民票1通を提出してください。 注2) 調査書等に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。 注3) 書類保存期間経過により調査書が発行できない場合は、「単位修得証明書」及び「卒業証明書」、「履歴書」を提出してください。履歴書は、本学ホームページ「入試情報」の「出願書類ダウンロード」よりダウンロードし、A4サイズ片面で白黒印刷してください。志願者本人が、規定の枠内に黒のボールペンで記入してください。また、調査書が発行できない旨の理由書を高等学校等に発行してもらい、併せて提出してください(任意様式)。
⑤出願資格を証明する書類 (高等学校卒業程度認定試験合格(見込みを含む)または大学入学資格検定合格による出願者が提出する書類)	高等学校卒業程度認定試験合格者または大学入学資格検定合格者は「合格証明書」と「合格成績証明書」、令和7年3月31日までに合格見込みの者は、「合格見込成績証明書」を提出してください。 なお、高等学校等で単位修得した科目がある場合は、その高等学校等の「調査書」もしくは「成績証明書」も併せて提出してください。

※提出された書類は理由を問わず一切返還しません。

(4) 出願書類の送付

②宛名ラベルを貼付した角2封筒に出願書類①、③、④または⑤を入れ、必ず出願期間内に簡易書留速達で郵送してください。出願書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。書類をよく確認し郵送してください。

※提出された調査書とネット出願志願票の内容に相違がある場合は本学で修正する場合があります。

また、個人情報に入力間違いがあり、やむを得ず志願者本人に確認が必要な場合は、登録のある電話番号に連絡します。入試・広報部(TEL 0564-48-4321もしくは0564-48-2232)より着信がある場合は速やかに連絡してください。

(5) 受験票について

11ページの**9** 受験に関する注意についての「受験票」を必ず確認してください。

(6) 受験上の配慮

受験時において、障がい・疾病・怪我等による配慮を希望される場合は、出願前に入試・広報部(TEL 0564-48-4321)へご相談いただき、大学の配慮内容について確認していただく必要があります。出願前のご相談がなく受験された場合、ご希望される支援等を準備できない場合がありますのでご注意ください。なお、出願前に配慮についてご相談いただくことで入試結果の判定が不利となることはありません。

入学後の配慮についてのご相談は、学生支援部(TEL 0564-66-6120)までお問い合わせください。

試験について

〔心理学部〕／〔環境科学部〕

試験日	選抜方法	試験地	合格発表日
10月5日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志望理由書 ・ テーマ作文 ・ 面接 ・ 調査書 	那覇	11月1日（金）

選抜方法及び時間

①～③の総合判定で選抜

入室完了時刻	9:40	
① テーマ作文	10:00～11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定のテーマについて、意見や考えをまとめた作文を評価 ※心理学部は800字程度で記述。環境科学部は600字程度で記述。
② 面接	11:30～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志望理由書に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問（面接員は2名、面接時間は10分程度（個人面接））
③ 入学志望理由書・調査書もしくはそれに代わる書類		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願時に提出する書類で学力以外の活動歴（部活動、ボランティア、皆勤等）も評価

〔松山看護学部〕／〔総合心理学部〕／〔総合環境学部〕

試験日	選抜方法	試験地	合格発表日
10月5日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志望理由書 ・ テーマ作文 ・ 面接 ・ 調査書 	那覇	11月1日（金）

選抜方法及び時間

①～③の総合判定で選抜

入室完了時刻	9:40	
① テーマ作文	10:00～11:00	松山看護学部 ・ 指定のテーマについて、意見を800字で記述（60分） ----- 総合心理学部 ・ 指定のテーマについて、意見や考えを800字程度で記述（60分） ----- 総合環境学部 ・ 指定のテーマについて、意見や考えをまとめた作文を評価（60分、800字程度）
② 面接	11:30～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志望理由書に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問（面接員は2名、面接時間は10分程度（個人面接、対面もしくはオンラインで実施））
③ 書類審査		<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願時に提出する書類で学力以外の活動歴（部活動、ボランティア、皆勤等）も評価

〔5学部共通〕

試験場

沖縄産業支援センター

沖縄県那覇市小禄 1831-1

〈バスの場合〉

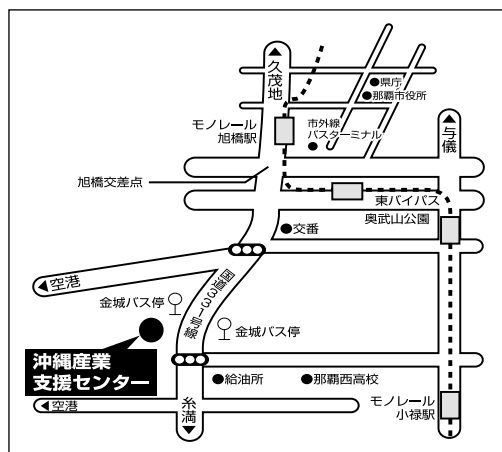
国税庁舎前の「旭橋」バス停から89番糸満線

または56番浦添線に乗車、3つ目のバス停

「金城」にて下車、徒歩1分

〈モノレールの場合〉

「小禄駅」にて下車、徒歩15分



5

合格発表について

合格発表日 令和6年11月1日（金）

- ①入試結果は、出願サイトの「マイページ」で合格発表日の13:00から3日後の17:00まで照会できます。入試結果を印刷する場合は、**印刷ボタン**を押してください。受験者本人に郵送での入試結果通知は行いません。
- ②入試結果については、出身高等学校長もしくは中等教育学校長に郵便にて通知します。出身高等学校もしくは中等教育学校への入試結果通知を承諾できない場合は、ネット出願登録時に該当項目にチェックしてください。
- ③入試結果に関する問い合わせには一切応じません。

6

入学手続について

別冊の「ネット出願ガイド」7～8ページをよく確認して入学手続を行い、下記手続期限までに完了してください。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

入学手続期限 令和6年11月11日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ●入学手続書類を提出 ●学生納付金を納入
---------------------------------------	---

【学生納付金の返還について】

一旦納入された学生納付金は返還しません。ただし、令和7年度入試の合格者で、入学金・前期授業料・前期教育充実費・前期施設設備費（松山看護学部のみ）を納入後、令和7年3月31日（月）17:00までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金（入学金が免除されている場合には入学金相当額）を除いた学生納付金を返還します（振込手数料本人負担）。

また、出願資格または入学資格を卒業や取得等の見込みで受験し入学時までに要件を満たせないことが判明した場合も、入学金（入学金が免除されている場合には入学金相当額）を除いた学生納付金を返還します（振込手数料本人負担）。



初年度の学生納付金について

沖縄県地域特別AO入試学生納付金減免制度について

沖縄県地域特別AO入試の合格者は、**最長4年間にわたり年間200,000円を免除します。**

※各年次に減免措置を継続するための審査があります。

心理学部

心理学
犯罪心理学

環境科学部

フィールド生態学科
環境データサイエンス学科

	入学手続時	1年次9月
入 学 金	200,000円	—
授 業 料	前期分 350,000円	後期分 350,000円
教育充実費	前期分 215,000円	後期分 215,000円
免 除 額	— 100,000円	— 100,000円
合 計	665,000円	465,000円

◆上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和7年度予定)。

・ 学生後援会入会金	6,000円
・ 学生後援会会費(年額)	12,000円
・ 学生教育研究災害傷害保険料(4年間)	3,300円
・ 学研災付帯賠償責任保険Aコース保険料(4年間)	1,360円
・ 健康診断費用自己負担分	1,100円
・ 学生証作成費	1,460円
・ LMS登録料※	2,000円
・ ウェルカムキャンプ費用	15,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	3,000円
合 計	45,220円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しています。

・ 令和7年度の諸費用については、これまでの実績により算出しています。諸般の事情により変更になる場合があります。

・ 上記以外に教科書代等及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。

・ 本学では、講義におけるレポート作成、卒業研究に係る論文作成、大学からの連絡、遠隔授業の受講、履修登録など、様々な場面でPCを使用する機会があり、入学までに必ずご準備いただく必要があります。大学が推奨するノートPCの購入をご希望する方は後日合格者にお送りするPC案内書をぜひご利用ください。

※既にノートPCをお持ちの場合、入学時に新たに購入していただく必要はありません(ただし、入学する学部・学科が指定するスペック等を満たしている必要があります)。

松山看護学部

看護学科

	入学手続時	1年次9月
入 学 金	250,000円	—
授 業 料	前期分 475,000円	後期分 475,000円
教育充実費	前期分 147,500円	後期分 147,500円
施設設備費	前期分 127,500円	後期分 127,500円
免 除 額	— 100,000円	— 100,000円
合 計	900,000円	650,000円

◆上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和7年度予定)。

・ 学生後援会入会金	6,000円
・ 学生後援会会費(年額)	12,000円
・ 日本看護学校協議会共済会総合保障制度「Will2」年間掛金	4,500円
・ 健康診断費用自己負担分	2,292円
・ 感染症抗体検査	23,705円
・ 学生証作成費	1,460円
・ LMS登録料※	2,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	3,000円
合 計	54,957円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しております。

・ 令和7年度の諸費用については、これまでの実績により算出しています。諸般の事情により変更になる場合があります。

・ 上記以外にユニホーム・シューズ・カーディガン費用(約38,000円)、教科書代等及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。

・ 本学では、講義におけるレポート作成、卒業研究に係る論文作成、大学からの連絡、遠隔授業の受講、履修登録など、様々な場面でPCを使用する機会があり、入学までに必ずご準備いただく必要があります。大学が推奨するノートPCの購入をご希望する方は後日合格者にお送りするPC案内書をぜひご利用ください。

※既にノートPCをお持ちの場合、入学時に新たに購入していただく必要はありません(ただし、入学する学部・学科が指定するスペック等を満たしている必要があります)。

総合心理学部 総合心理学科 総合犯罪心理学科	入学手続時		1年次9月
	入 学 金	200,000円	—
	授 業 料	前期分 350,000円	後期分 350,000円
	教育充実費	前期分 190,000円	後期分 190,000円
	免 除 額	－100,000円	－100,000円
	合 計	640,000円	440,000円

◆上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和7年度予定)。

・ 学生後援会入会金	6,000円
・ 学生後援会会費(年額)	12,000円
・ 学生教育研究災害傷害保険料(4年間)	3,300円
・ 学研災付帯賠償責任保険Aコース保険料(4年間)	1,360円
・ 健康診断費用自己負担分	2,292円
・ 学生証作成費	1,460円
・ LMS登録料※	2,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	3,000円
・ 新入生歓迎合宿費	10,000円
合 計	41,412円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しております。
 ・ 令和7年度の諸費用については、これまでの実績により算出しています。諸般の事情により変更になる場合があります。
 ・ 上記以外に教科書代等及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。
 ・ 本学では、講義におけるレポート作成、卒業研究に係る論文作成、大学からの連絡、遠隔授業の受講、履修登録など、様々な場面でPCを使用する機会があり、入学までに必ずご準備いただく必要があります。大学が推奨するノートPCの購入をご希望する方は後日合格者にお送りするPC案内書をぜひご利用ください。
 ※総合心理学部では完全ペーパーレス授業を展開しており、長時間(1時限目から5時限目の場合、昼休憩を除くと約8時間)かつ4年間の使用に耐え、本学システムや授業運営に支障が出ないよう学部教員が選定した大学推奨PCを、全員購入するようにしてください。

総合環境学部 フィールド自然学科 環境情報学科	入学手続時		1年次9月
	入 学 金	200,000円	—
	授 業 料	前期分 350,000円	後期分 350,000円
	教育充実費	前期分 215,000円	後期分 215,000円
	免 除 額	－100,000円	－100,000円
	合 計	665,000円	465,000円

◆上記の他に、下記諸費用が必要となります(令和7年度予定)。

・ 学生後援会入会金	6,000円
・ 学生後援会会費(年額)	12,000円
・ 学生教育研究災害傷害保険料(4年間)	3,300円
・ 学研災付帯賠償責任保険Aコース保険料(4年間)	1,360円
・ 健康診断費用自己負担分	2,292円
・ 学生証作成費	1,460円
・ LMS登録料※	2,000円
・ マイクロソフトライセンス利用料	3,000円
・ 新入生交流イベント費	16,000円
合 計	47,412円

※LMSは学習管理システムの略です。本学では教育効果を高めるために全学的に導入しています。
 ・ 令和7年度の諸費用については、他学部の実績により算出しています。諸般の事情により変更になる場合があります。
 ・ 上記以外に教科書代等及び実習費の必要な科目の実習費実費が別途必要となります。
 ・ 本学では、講義におけるレポート作成、卒業研究に係る論文作成、大学からの連絡、遠隔授業の受講、履修登録など、様々な場面でPCを使用する機会があり、入学までに必ずご準備いただく必要があります。大学が推奨するノートPCの購入をご希望する方は後日合格者にお送りするPC案内書をぜひご利用ください。
 ※既にノートPCをお持ちの場合、入学時に新たに購入していただく必要はありません(ただし、入学する学部・学科が指定するスペック等を満たしている必要があります)。

【奨学金等について】

「本学の奨学金制度」、「独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度」、「国の教育ローン」については、本学ホームページ(<https://www.uhe.ac.jp/exam/expenses.html>)でご案内しています。

なお、本学は文部科学省が定める高等教育の修学支援の対象校です。対象者が修学支援制度を利用するための本学の手続方法は合格者に案内します。

奨学金(住宅費補助)について

沖縄県地域特別AO入試の合格者で、入学後一人暮らしをする方には、奨学金として年間12万円の住宅費を補助します。

詳細は、入試・広報部までお問い合わせください。

受験に関する注意について

受 験 票	受験票は本学で出願を受理した後に、出願サイトの「マイページ」に公表します。志願者が出願書類を郵送してから本学で出願を受理するまで時間を要することがありますので、「マイページ」を定期的に確認してください。受験票はダウンロードし、出願時に入力した内容であるか確認後、拡大縮小せずA4サイズ片面で印刷し、点線に沿って切り取り、試験日に持参してください。受験票が試験日2日前までにダウンロードできない場合には、入試・広報部までお問い合わせください。受験票は、合格発表、入学手続まで大切に保管してください。
遅刻について	試験開始後15分以上遅刻した者は受験できません。ただし、天候の不順による交通機関の遅延や、交通機関における事故などのやむを得ない理由により試験場に到着できない場合は、以下まで連絡をして指示を受けてください。 連絡先 入試・広報部 (TEL 0564-48-4321) 代表番号 (TEL 0564-48-7811)
開 場 時 刻	試験の始まる60分前を予定しています。
試 験 室 へ の 入 室	受付で受験票を提示して入室してください。 受験票を忘れた場合は、係員にその旨を申し出てください。 受験票のない者及び受験者以外は、原則として入場できません、 受験番号により指定された席につき、受験票を机上においてください。
昼 食	昼食は各自用意してください。
交 通 手 段	試験場へは、公共の交通機関を利用してください。
持 ち 物 等	①受験票 ②試験時間中に机の上に置けるものは、 受験票、黒鉛筆・シャープペンシル (HB または B)、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)、 時計 (辞書や電卓・端末等の機能があるもの・秒針音のするもの・大型のものを除く)、 眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけ取り出したもの)、 目薬 。これ以外の所持品を置くことはできません。 ③監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、耳栓は使用できません。
そ の 他	試験室では、携帯電話・スマートフォンの電源を切ってください。 不明な点、忘れ物などがあれば、係員に申し出てください。 その他の注意事項は本学ホームページで確認してください。

入学前教育について

〔心理学部〕／〔環境科学部〕

入学手続完了者全員を対象に、入学までの学習をサポートするための入学前教育を実施しますので必ず受講してください。受講料は30,000円程度を予定しています。スケジュール等の詳細につきましては、合格者に通知します。

〔松山看護学部〕

入学手続完了者全員を対象に入学前教育を実施します。入学までの学習を支援するためのプログラムを使用しますので、必ず受講してください。なお、このプログラムは入学後よりメディア教育（補習教育）として使用します。受講料は3,000円程度です。スケジュール等の詳細につきましては、合格者に通知します。

〔総合心理学部〕

入学手続完了者全員を対象に、入学前教育を行いますので必ず受講してください。受講料等の詳細につきましては、合格者に通知します。

〔総合環境学部〕

入学手続完了者全員を対象に、入学までの学習をサポートするための入学前教育を実施しますので必ず受講してください。受講料は30,000円程度を予定しています。スケジュール等の詳細につきましては、合格者に通知します。

個人情報の取扱いについて

出願時に記載された氏名、住所その他の個人情報は、入学試験実施及び入学手続等これに付随する業務を行うために使用します。この各種業務での利用にあたっては、本学より業務委託を受けた業者に、委託した当該業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

また、収集した個人情報は個人を特定できない形で、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究等の資料として利用することがあります。

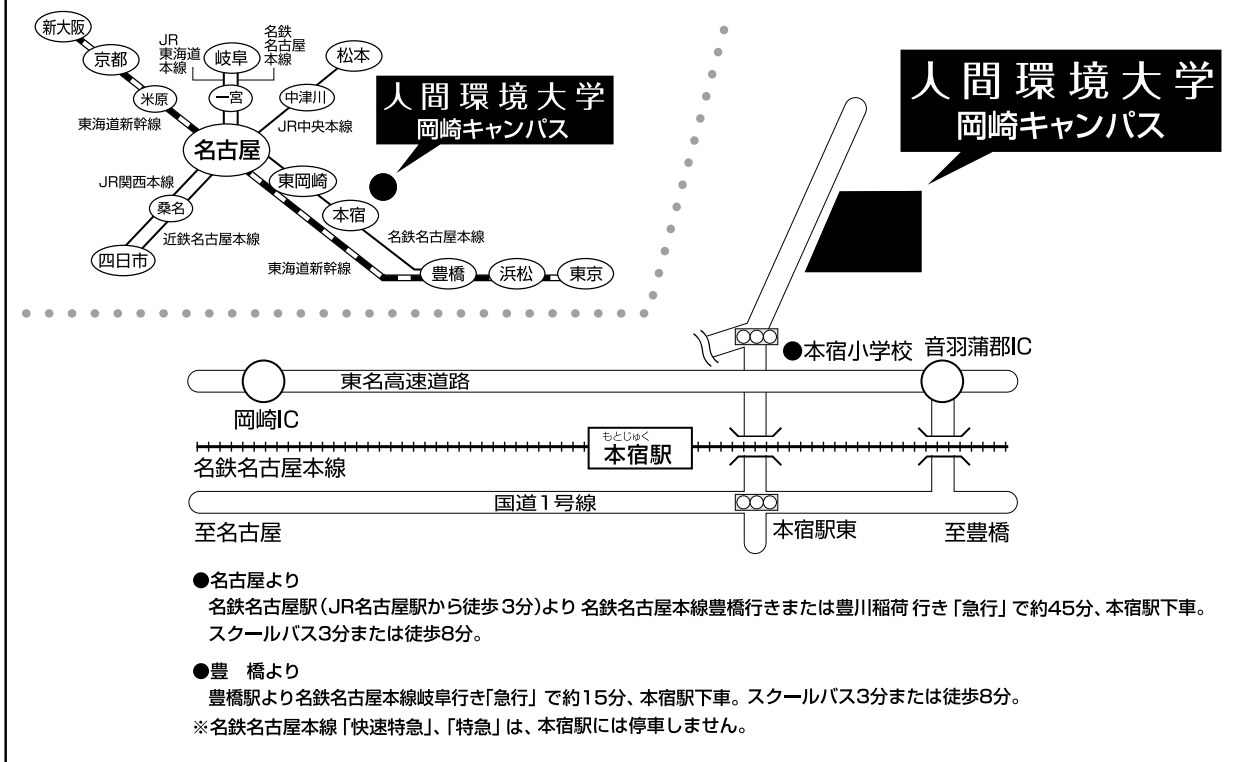
上記の場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

特別奨学生選抜試験のご案内

沖縄県地域特別AO入試で合格、入学手続をされた方も、入学手続を行った学科の「特別奨学生選抜試験」（試験日12月7日（土））を入学検定料免除で受験することができます。また、減免制度の併用はできません。詳細は、本学ホームページの入試情報から特別奨学生選抜試験の入試要項で確認してください。

岡崎キャンパス

交通アクセス



松山キャンパス 松山道後キャンパス

交通アクセス

